

第5学年 外国語活動学習指導案

は組 男子18名 女子19名 計37名

指導者 HRT 高山 愛美

ALT Christopher Sneller

1 単元 ごきげんいかが？（英語ノート1「ジェスチャーをしよう」）

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、第5学年「世界の『こんにちは』を知ろう」の活動を通して、外国には様々な言語や挨拶の仕方があることを知り、もっと様々な言語や文化について知りたいという願いをもつようになってきている。また、自己紹介や挨拶を表す英語の音声やリズムに慣れ親しみながら、ALTやHRT、友達と楽しくコミュニケーションを図るようになってきている。さらに、分からない英語を推測して聞いたり話したりする能力や、目的や相手を考えて必要な英語を用いようとする能力を身につけてきている。

そこで、本単元では、外国には挨拶だけでなく、気持ちを表す様々なジェスチャーや表情があることを知り、日本との共通点や相違点に気付かせていきたい。また、気持ちを表すジェスチャーや英語を使ったクイズやゲーム活動、自分の気持ちをジェスチャーや英語等で表し、その理由を尋ねるスキットづくりを通して、ALTやHRT、友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を高めさせていきたい。さらに、気持ちやその理由を表す英語の音声やリズムに慣れ親しみながら、ALTやHRT、友達と協力してコミュニケーションを図ろうとする能力を身に付けさせていきたい。

この学習は、道に迷っている人に、ジェスチャーや知っている英語等を使って、自分なりの方法で道を教える「町に出かけよう」へと発展するものである。

(2) 指導の基本的な立場

子どもたちにとって、友達や教師、そして家族等が「今どのような気持ちでいるのだろう。」「なぜ悲しんでいるのだろう。」等、相手の気持ちを考えたり、その理由を尋ねたりすることは、コミュニケーションを図る上で大切なことであり、興味・関心が高いものと考えられる。そして、相手が外国人であった場合、「どんな言葉で伝えればいいのだろう。」「日本とどんなところが違うのだろう。」等の不安や期待が生じてくることが考えられる。

そこで、外国の人に英語で気持ちを伝え合う場面を設定し、自分の気持ちを伝えたり、相手の挨拶や気持ちについて考えたりする活動を行うことは、英語を通して相手と積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を喚起させることに適している。また、気持ちを表すジェスチャーや表情を比べることで、日本との共通点や相違点に気付いたり、互いのよさを感じたりして、文化に対する理解を深めることにも適している。

このような気持ちを伝え合う場面において、そこに必要な英語を表現する楽しさを十分味わえるようにするために、リズムチャンツやゲーム活動、自分なりの方法で思いを伝えるスキットづくりを重視していきたい。また、相手や場面を意識して適切な表現を選んだり、ジェスチャーや表情を生かして伝え合ったりすることを通して、自他と協調する喜びを感じ、外国語を用いてコミュニケーションを図りたいという願いが連続・発展していくように学習活動を展開していきたい。

具体的には、まず、ALTとHRTのスキットを見て、気持ちを伝え合うことについて興味・関心を高めさせる。また、「英語ノート1」(p10)のクイズやフィーリングバスケットゲーム、ウィスパーゲーム等の活動を通して、気持ちを伝え合う場面での英語の発音やリズムに慣れ親しむようにさせる。

次に、気持ちやその理由を伝え合う場面を想定して、ALTとHRT、友達と互いの思いを伝え合うスキットづくりを行う。その際、分からない英語を、ジェスチャーや知っている英語を使ったり、母語を用いて推測したりしながら、ALTやHRT、友達に積極的に尋ね、コミュニケーションを継続していくことに気付かせるために、コミュニケーションギャップを取り入れたスキットを見せる。

さらに、つくったスキットをALTやHRT、友達に紹介し合うことによって、友達の表現の仕方の違

いやよさ等を知り、多様なものの見方や考え方に気付くことができるようにする。

このような学習を通して、気持ちやに関する表現に慣れ親しみながら、ALTやHRT、友達と積極的にコミュニケーションを図る際に必要な能力を身につけ、英語を使うよさを実感し、次の学習へ新たな意欲をもって取り組むことができるものとする。

(3) 子どもの実態 (対象者：は組児童37名 ③、④、⑤は重複回答、結果は主なもののみ表示)

① 言語や文化に対する体験的な理解
○ 外国の言語や文化について、もっと知りたいか。 <はい(35)> ・楽しい。珍しい。おもしろい。(9) ・日本との違いを知りたい。(8) ・他の国に興味がある。(5) ・外国の歴史を知りたい。(5) ・将来役に立ちそう。(3) <いいえ(2)> ・あまり興味がない。(2)
② コミュニケーションへの積極性
○ 外国の人と話すのは好きですか。 <はい(29)> ・外国の言葉を知ることができる。(5) ・外国の文化を知ることができる。(5) ・英語を話せるようになる。(3) <いいえ(8)> ・意味があまり分からない。(5) ・すこし緊張する。(2) ・むずかしい(2) ・初めて会う人がいるからこわい。(2)
③ 気持ちを表す英語の慣れ親しみ
・happy(31) ・hungry(31) ・fine(30) ・sleepy(30) ・cold(8) ・angry(7) ・hot(6) ・tired(3)
④ 英語が分からない時の対応 (方略的能力) (※「おもしろい」という英語が分からない。)
・ジェスチャー(24) ・絵に描いて伝える(17) ・ローマ字で書く(3) ・知っている英語を使う(2) ・関連することを書く(2)
⑤ 「外国語活動」に対する達成感・満足感
○ どんな時、喜びを感じるか。 ・ゲームで勝った時(11) ・たくさんの英語を覚えられた時(7) ・ゲームをやっている時(6) ・クイズで正解した時(4) ・発表できた時(3) ・うまく発音できた時(2)

本学級の子どもたちは、外国の言語や文化に対する興味・関心が高く、外国と比べることを通して日本の言語や文化に対する興味をもっている子どもが多い。しかし、興味をもっていない子どももいることから、日本と外国との文化の違いや共通点を知り、多様なものの見方や考え方があることに気付かせ、互いのよさを認め合い、共存していこうとする態度につなげていきたい。(①)

コミュニケーションに関しては、多くの子どもがそのよさを感じている。しかし、外国の人と話すことに対して、言葉の意味が理解できないことや、緊張感や恐れなどから、苦手意識をもっている子どももいる。コミュニケーションを図ることの楽しさやよさを、ALTやHRT、友達と気持ちを伝え合うスキット活動を通して実感させていきたい。(②)

気持ちを表す英語に関して、慣れ親しみやすくするために、実態を見て子どもたちがよく知っている英語から先に取り扱っていききたい。(③)

分からない英語があるとき、子どもたちはどのように伝えたらよいか、自分なりの方法を考えることができています。中でも、ジェスチャーがコミュニケーションに役立つことを感じている子どもは多い。そこで、ジェスチャーを使いながら、コミュニケーションを行う場面を設定し、伝え合う喜びを味わわせていきたい。(④)

外国語活動に対する達成感・満足感については、ゲームやクイズなど、活動に対して感じている子どもが多い。一方で、英語を獲得していく喜びを感じている子どももいる。気持ちを伝え合う英語に慣れ親しみ、自信をもって話す場面を設定し、どの子どもにも英語

を使ってコミュニケーションを図る喜びを味わわせていきたい。(⑤)

(4) 指導上の留意点

ア 「気持ちを表す表現を知ろう」の活動では、気持ちを伝え合う英語に慣れ親しませるために、気持ちを伝え合う場面のスキットを見たり、ゲームやリズムチャンツで発表させたりする。

イ 「進んでジェスチャーをしよう」の活動では、外国と日本の気持ちを表すジェスチャーや表情の共通点や相違点を考え、言語や文化に対する理解を深めさせる。また、ジェスチャーや表情がコミュニケーションを支えていることに気付かせるために、身近な物事をジェスチャーだけで表すジェスチャーゲームをする。

ウ 「話し合おう」の活動では、友達と気持ちを伝え合うスキットづくりに取り組ませる。その際、分からない英語はALTやHRT、友達にジェスチャーや知っている英語等で尋ね、コミュニケーションを図らせる。

エ 活動全体を通して、ワークシートに学んだことを書かせ、言葉の面白さや豊かさに気付かせたり、多様なものの見方や考え方があることに気付かせたりして、互いのよさを認め、協調する喜びを味わわせていく。

3 目 標

- (1) 世界にはいろいろなジェスチャーがあること、ALTやJTE、友達のジェスチャーには共通点や相違点があることを知り、文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 「気持ちを伝える英語を使って友達のことを知りたい。」という願いのもと、ALTやJTE、友達と協力しながら、積極的にゲーム活動に取り組んだり、発表したりすることができるようにする。
- (3) 気持ちを伝える英語の音声やリズムに慣れ親しむことができるようにする。
- (4) 分からない英語を、ジェスチャーや知っている英語を用いてALTやJTE、友達に尋ねながら、コミュニケーションを継続することができるようにする。

4 指導計画 (全4時間)

※「英ノ」は英語ノートを示す。

楽しさの深まり	単 元	過 程	学習課題と学習活動	教師の具体的な働きかけ
○ クイズに挑戦する楽しさ ○ 歌って体を動かすことの楽しさ ○ 感情を表す言葉に慣れ親しむ楽しさ ○ 表情やジェスチャーで気持ちが伝えられる楽しさ ○ 外国のジェスチャーを知り多様なものの見方や考え方に気付く楽しさ ○ 友達とのコミュニケーションを体験する楽しさ ○ 友達と協力して目的に向かう楽しさ ○ 使えるようになった英語を通し、自分や友達を楽しくする	1	意欲をもつ	I 気持ちを表す表現を知ろう Let's play gesture Games I. ・気持ちを表すスキットを見る。 ・スキットの内容と語彙や表現について話し合う。 ・気持ちを伝え合う英語を知る。 ・リズムチャンツをする。 ・フィーリングバスケットをする。 How are you? I'm fine / happy / hungry / hot / cold	○ 気持ちを表す英語に注目させ、それらを英語で発話することへの興味をもたせるために、道で会った場面を設定する。 ○ 意欲的に発話できるように、子どもが慣れ親しんでいる表情の絵カードを掲示しておく。 ○ 気持ちを表す英語の音声やリズムに楽しく慣れ親しませるために、リズムチャンツやゲーム活動を取り入れる。
	2	つかむ	II 進んでジェスチャーをしよう Let's play Life Games II. ・気持ちを表すスキットを見る。 ・スキットの内容や語彙、表現について話し合う。 ・外国のジェスチャーを知る。 ・リズムチャンツをする。 ・ウィスパークゲームを行う。 ・ホットポテトゲームをする。 How are you? I'm angry / sleepy / tired / thirsty	○ 文化に対する理解を深めさせるために、外国の生活習慣との共通点や相違点について考えさせるとともに、発表させる。 ○ 友達のことを思いやることの大切さに気づかせるために、目的や相手のことを考え適切な表現をさせる。
	3 (本時)	挑戦する・広げる	Let's Make Skits. ・気持ちを伝え合うスキット1を見る。 ・リズムチャンツを行う。 ・グリーティングゲームをする。 ・感情を伝え理由を述べるスキット2を見る。[方略的能力] ・スキットづくりに挑戦する。 C1: How are you? C2: I'm ○○○. C1: Why? C2: (英語や日本語等で答える)	○ 分からない表現を自分たちの方法で獲得させるために、ALTやHRT、友達にジェスチャーや絵カードを使って、尋ねるようにさせる。 ○ 発話を広げさせるために、小道具を用意したり、ジェスチャーや表情、日本語でもよいことを伝えたりして意欲付けを図る。
	4	振り返る	Let's Play Skits. ・協力してできたスキットを発表する。 ・友達と協力できたこと、自分との相違点や互いのよさを発表し合う。 ・これまでに学んだ英語を振り返る。 I'm ○○○. / Why? (例) study all night / get a present / lost my wallet (知っている単語にジェスチャーを加えて) ジェスチャーや表情で言葉がいっそうはっきりと相手に伝わる。	○ 発表を聞いている方も英語を発話できたことの喜びを味わわせるために、話し手に積極的に質問させるようにする。 ○ 学習の成就感を味わわせるために、新たに学んだことや考えたこと等を振り返らせる。

5 本 時 (3/4)

(1) 目 標

- ア 気持ちを伝え合うために必要な英語を知り、それらに慣れ親しむ活動を通して、ALTやHRT、友達と協力しながら積極的に活動を楽しむことができるようにする。
- イ 分からない英語を、ジェスチャーや表情、知っている英語を用いながらALTやHRT、友達に尋ね、コミュニケーションを継続することができるようにする。

(2) 本時の展開に当たって

- 自分なりの方法で、気持ちを伝えることができた喜びや達成感を味わわせるために、ALTやHRT、友達と協力してスキットをつくる。また、スキットにおける表現の仕方の違いや、そのよさに気付かせるために、スキットを紹介し合い、思ったことや考えたこと等を発表させる。

(3) 実 際

過程	主 な 学 習 活 動	語彙や表現	時間	教師の具体的な働きかけ
意 欲 を も つ	1 Greeting (全体)		7	○ 町の中で気持ちを伝え合う場面を具体的に想像させるために、町の様子を表す場面を表す拡大絵を貼ったり、果物等の具体物を準備したりする。
	2 気持ちを伝え合うスキットを見る。	【Skit】 A: Hello, Miss Takayama. How are you? H: I'm fine, Thank you, and you? A: I'm hungry. H: Oh, here, you are. (バナナをわたす) A: Thank you. H: Mr. Sneller. How are you? I'm happy.		
つ か む	3 本時の学習場面や必要な英語について話し合う。 (めあての確認)			○ ネイティブな発音に慣れ親しませるために、ALTの発音を真似させながら、気持ちを伝える英語を発話させる。
	4 ALTと一緒にスキットに挑戦する。		13	
挑 戦 す る ・ 広 げ る	5 気持ちを伝える英語の発話に挑戦する。			○ 表情やジェスチャーなど、積極的にコミュニケーションを工夫している子どもを見つけ、賞賛する。
	6 グリーティングゲームをする。(英語ノートp15)			
挑 戦 す る ・ 広 げ る	7 気持ちを伝え合う場面のスキットを見る。	C1: How are you? C2: I'm ○○○. 多くの友達と尋ね合う。		○ 分からない英語をALTやHRT、友達に積極的に尋ねさせるために、具体的な方法を考えさせる。
			20	
振 り 返 る	8 スキットづくりをする。	【子どものスキット例】 C1: Hello. How are you? C2: I'm sleepy. C1: Why? C2: (ジェスチャーで) (知っている英語で) "study all night."		例① 実際に、傘の実物を持ってきて示す 例② "rain" 等の知っている英語を示す。 例③ 傘を持ってさすジェスチャーで示す。
	9 Presentation (発表)			
振 り 返 る	10 Reflection Time (振り返り)			○ 充実感を味わわせるために、自分たちで気持ちを尋ねる場面を設定し、スキットづくりをさせる。
	○ 感想交流			
	11 Ending		5	○ 子ども同士が互いに関わり高め合うようにするために、協力して活動している子どもを賞賛する。